

CHECK! どんな症状が出たら婦人科に行くべき・・・？

- ✓ **不正出血**：月経以外の不規則な出血がある
- ✓ **月経の異常**：正常な周期（25～36日）や期間（5～7日）を逸した月経である、月経量が多すぎる／少なすぎる、日常生活に支障が出る程の痛みを伴う など
- ✓ **おりものの異常**：正常なおりもの（無色透明～クリーム色で無臭に近い）とは異なる
- ✓ **外陰部の異常**：外陰部がかゆい、赤くただれる、痛い、しこりがある など
- ✓ **乳房の異常**：しこりや痛みがある、乳頭が黒ずんだり分泌物が出る など

上記のような兆候が見られたら、そのまま放置せず一度婦人科を受診してみましょう。また、上記のような兆候が見られない場合でも1～2年に一度は受けておきたいのが子宮頸がん検診と乳がん検診。厚生労働省はこれら2つについて「がん検診無料クーポン」というものを発行して受診を促しており、20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の女性には子宮頸がん検診の無料クーポン、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の女性には乳がん検診の無料クーポンがそれぞれ配布されます。また、自治体によっては無料あるいは一部の自己負担で検診を受けられるところがあったり、企業で補助しているところなどもありますので、こうした制度について一度調べておくとも良いかもしれません。ちなみに、婦人科での検診をご自身で受診される場合は基本的に全額自己負担となりますが、それぞれ1万円前後というのが相場ようです。尚、何らかの不調があって婦人科に相談しその上で受けることになった検診は保険適用となるため、それによっても自己負担額は変わります。

+ **できる？できない？健康保険の適用範囲**

もし万が一何らかの病気が見つかった場合、健康保険を使って通院・治療・入院等をしていくことになりますが、医療にかかわる全ての費用に保険が適用されるわけではありません。具体的な例でみていきましょう。

治療編



- 乳腺にしこりがあり、マンモグラフィ検査を受けるときは？
→【O】予防的な検査ではなく治療の一環としての検査にのみ適用されます。
- セカンドオピニオンを受けるときは？
→【X】診療ではなく相談にあたり、自費で約1万円～が目安になります。
- 高度な医療技術（先進医療）を受けるときは？
→【X】最新のがん治療には自費で約300万円かかるものもあります。

入院編



- 私立病院に入院するとき？
→【O】看護料や医学管理料なども含めて保険が適用されます。
- 個室での療養を希望するとき？
→【X】個室料（差額ベッド代）は自費で1日あたり平均7,437円です。
- 入院中にベビーシッターを頼むとき？
→【X】病室のテレビ代・理美容代・家族の交通費なども適用外です。

女性特有の病気を患う人は年々増加しています。自分の身体のことには自分にしかわかりません。「私は大丈夫」と思わず、ちょっとした異変にも気付けるよう日頃から意識していきましょう！！

ニュース **ここに注目**

花粉の季節到来！先日気になるニュースが掲載されました。

林野庁は2015年度から、国民の3割が悩んでいるとされる花粉症対策のための新しい補助金を出す。森林所有者が、花粉の多いスギの人工林を伐採し、花粉のない品種や花粉が少ない品種の苗木に植え替える場合、費用の一部を負担する。花粉の少ない森林への転換を促すことで、少しでも花粉症の悩みを和らげたいと考えた。品種開発が進み、無花粉や少花粉スギの品種は130種類を超えている。しかしこれらの苗木の供給量は、2013年度で201万本で、スギ苗木全体の1割程度にとどまっている。林業関係者は順調に育った実績がある従来の苗木を植え続ける傾向があるという。林野庁は啓発活動にも取り組み、2017年度には全体の5割以上の1000万本に引き上げたい考えだ。

— 2月15日付 YOMIURI ONLINE より抜粋 —

3 既存のスギから無花粉スギへの植え替えに、国からの補助金が出ることになりました。そもそも「無花粉スギ」って何ですか？

4 花粉を飛散させないスギのことです。いまや国民病になりつつある花粉症対策の切り札として注目を集めています。

無花粉スギは元々突然変異によって生まれ、発見されたスギです。今から20年以上前の1992年、富山県で偶然1本の無花粉スギが発見されました。後の調査で、このスギは、花粉を作る雄花の機能に異常がある一方で種子を作る雌花の機能は正常であり、「花粉が出ないのに繁殖できる」状態であったことがわかっています。

その後、この無花粉スギをもとにした交配や品種改良が進められ、現在では全国各地で無花粉スギの開発が行われています。そして今後は、既存のスギから無花粉スギへの転換が国策として推進されていくようです。



無花粉スギは花粉症対策に有効と期待されている一方で、これに対して疑問視する声もあがっています。今後普及させようとしている無花粉スギはすべて人工的に開発されたものであり、生態系への影響・環境への影響・人体への影響など未知数な部分が多くて心配という声です。

今回国からの補助金制度がスタートすることで、今後無花粉スギへの植え替えに関する情報を耳にする機会が増えるかもしれません。そもそもの安全性という面も含めて、今後の動向に注目です。

お知らせ

ソフィア総合ナースステーション城南 ご相談お待ちしております☆

ソフィア総合ナースステーション城南
●24時間365日稼働 ●看取り・困難ケースにも対応

〒152-0034 東京都目黒区緑が丘3-1-7 セトル緑が丘B1
TEL：03-5731-8203 FAX：03-3723-2104 【管理者：小川】



どんな些細なことでも、直接のご依頼でなくともご相談ください！

